

第3学年C組 保健体育科授業案

日時 平成27年6月16日第3校時

場所 運動場

授業者 角谷 諭

1 単元 究極バトル スペースを狙え・アルティメット（ユニバーサルスポーツⅢ）

2 単元の構想

（1）本単元で目指す子どもの姿

アルティメットに出会った子どもは、ショートスローやロングスローを使った作戦を考える重要性に気づく。映像を分析することで、パスをつなぐためにマークを外す大切さを理解し、スペースを生み出す作戦を立てる中で役割を考え、チームに貢献する楽しさを味わう。そして、仲間の特徴を生かした作戦を立て、運動する楽しさを実感していく。

（2）本単元で伸ばしたい力

前単元のバトルハードルでは、空中姿勢や、リズムのよいインターバル、踏み切りなどにこだわることで、すばやく跳ぶための方法を身につけ個の動きのよさに気づく力を高めた。また、相手や自分の跳び方を分析することで、人との関係を築く力を伸ばし始めている。

本単元では、ディスクを使用したゴール型のゲームを行う。ディスクはスピードが遅いためキャッチしやすく、大きい形のため操作がしやすい。また、コートが広くスペースを生み出しやすいことから、スロワー、キャッチ、おとりが連携した動きをすることをとおして、集団の動きのよさに気づく力を伸ばしたい。さらに、映像を利用してゲーム分析を行い、目ざす動きと自分達の動きを照らし合わせながら、一人一人が特徴を生かすための作戦を立て、運動する楽しさを実感していく。そうすることで、人との関係を築く力をさらに高めたい。

（3）はたらきかけと「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

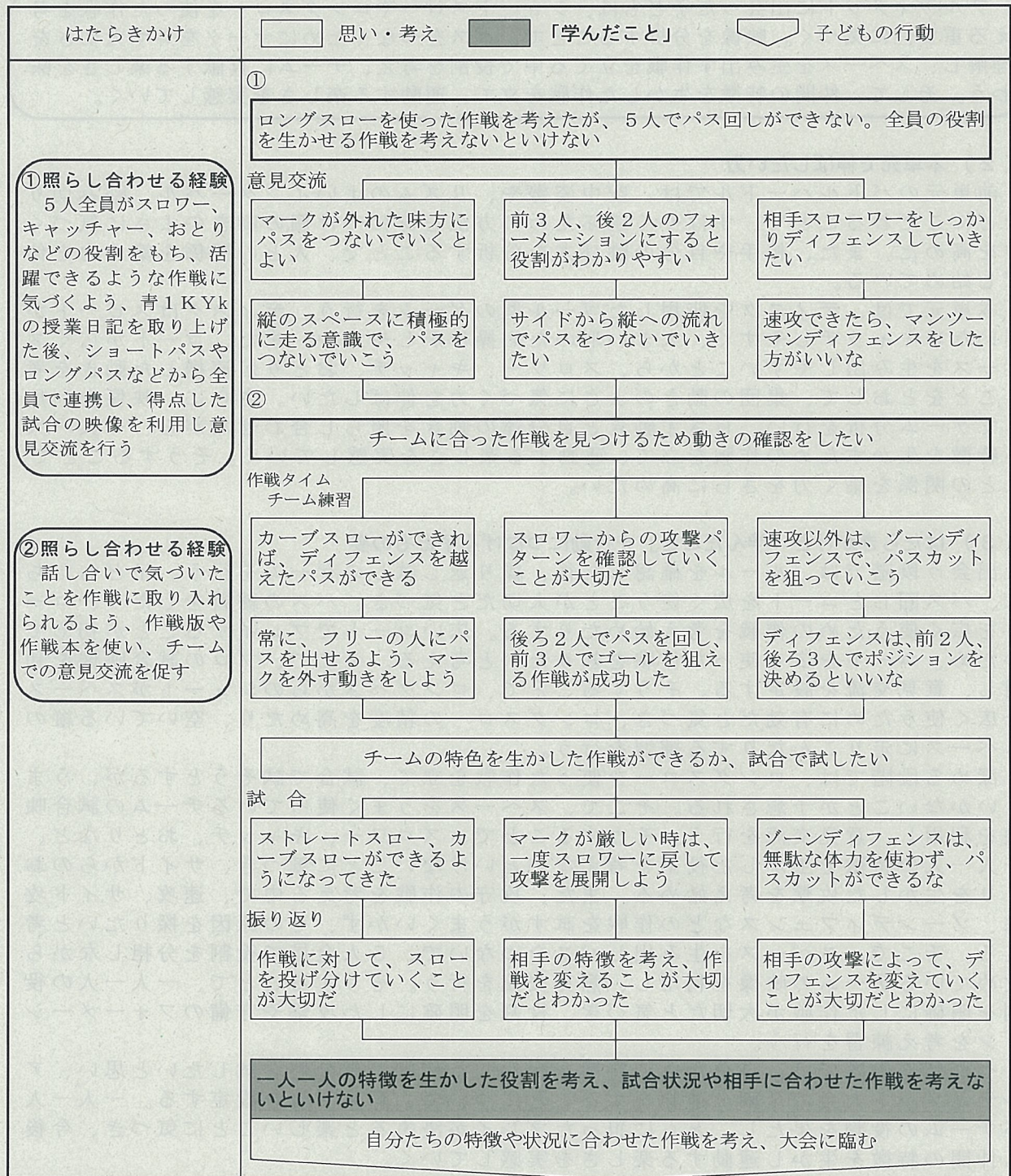
出会う段階では、ルールを確認した後、繰り返し試しのゲームを行う。子どもたちは、パス回しとコートを広く使うことが大切だと気づき、パスの練習をしたり、コートを広く使うための作戦を考え始めたりする。広いコートでプレイすることが初めてのため、コートを広く使った作戦を知りたいと考える。そこで、プロの試合映像を利用し、意見交流を設定する。そうすることで、ロングパスからのシュートがスペースを広く使うために有効だと気づき、ロングスローの精度を高めたり、空いている縦のスペースに走りこんだりする練習を行う。

深める段階では、ロングスローを使った作戦を立て、試合で試そうとするが、うまくいかないことが予想される。そこで、スペースをうまく使っているチームの試合映像を利用し、意見交流を行う。そうすることで、スロワー、キャッチ、おとりなど、一人一人の特徴を生かした役割を考えないといけないことに気づき、サイドからのおとりを生かした攻撃を考え始める。また、攻守の作戦を考える中で、速攻、サイド攻撃、ゾーンディフェンスなどの作戦を試すがうまくいかず、その原因を探りたいと考える。そこで、スペースを生み出しパスをつないで、5人全員で役割を分担しながら攻めているチームの映像を利用し、意見交流を行う。そうすることで、一人一人の役割を明確にした作戦が大切だと気づき、役割を明確にした攻撃や守備のフォーメーションを考え練習を行う。

つなげる段階では、自分たちの特徴を生かした作戦の有効性を試したいと思い、アルティメット大会の企画・運営をすることについて、意見交流を設定する。一人一人がチームの役割を果たし、ともに狙ったプレイが決まると楽しいことに気づき、今後も仲間の特徴を生かし運動する楽しさを実感していく。

4 本時の構想 (10/14)

アルティメットに出会った子どもは、パス回しとコートを広く使うことが大切だと気づき、パスの練習をしたり、コートを広く使うための作戦を考え始めたりした。繰り返しゲームを行う中で、スペースをうまく使えないことや、パスカットを多くされることに気づいた子どもは、ロングパスからの作戦を考え始めた。ただ、ディフェンス力が向上したことにより、ロングパスを使った作戦もなかなか成功することができなくなってきている。また、コートを広く使った作戦を作りたいという思いから、プロの映像を見せ意見交流を行った。その中で、サイド攻撃やスクリーンプレイを取り入れた作戦に気づき、作戦盤を使いチームで作戦の共通理解を図っていった。本時では、ロングパスだと女子を含めた5人でパス回しができないと、考えている青チームの青1KYkの授業日記を取り上げる。その後、ショートパスやロングパスからつなぎ得点をしているグループの映像を利用し、全体で意見交流を行う。一人一人が役割をもち、ショートパスが連携しているチームの作戦を聞くことで、ロングパスからの攻撃にこだわっていた青チームだが、ロングパスからの攻撃以外でも、全員でパス回しができる作戦があることに気づき、作戦を練り直し動きの確認をするだろう。その中で青チームは、青1KYkを中心に、5人がそれぞれの役割を分担し連携したパス回しからスペースを使った作戦を考え、練習を始める。そして、相手チームや試合状況に合った作戦パターンを選択し試合に臨むことで、作戦の完成度を高めていく。



5 単元構想表 (14時間完了)

【第7時終了時】

段階	主なはたらきかけ	<input type="checkbox"/> 思い・考え <input checked="" type="checkbox"/> 「学んだこと」 <input type="checkbox"/> 子どもの行動	保健体育科で重視する力
出会う	<p>○動きを照らし合わせる ゲームの仕方を理解できるように、ルールや道具の使い方、繰り返し試合を行う</p>	<p>ディスクゴルフで狙ったところへとばす投げ方を学んだ ハードルでは、仲間と関わりながらハードリングを高められた</p> <p>アルティメットの試合をたくさんやってみたい 1時～3時</p> <p>思ったところに投げられない。コントロールをつけたい ショートパスだと安定したパス回しができそう 体に触れてはいけないので、安心してプレイできる</p>	<p>☆個の動きのよさに気づく力 ・ディスクを思い通りに操作するために、握り方、手の振り方など上体の使い方に気づく</p>
深める	<p>○動きを照らし合わせる ロングパスの有効性に、プロの試合映像を用意し、提示する</p>	<p>いろいろな投げ方を身につけ、安定したパスをしたい ロングパスを使うのもっと速く攻められそう コートが広いのでスペースを生かした作戦を考えるとよい</p> <p>パス回しとコートを広く使うことが大切だ。そのための作戦を考えないといけない</p> <p>パス練習や、スペースを使うための作戦を考え始める 4時～10時 (本時10)</p>	<p>☆集団の動きのよさに気づく力 ・映像を利用し、をとものに、仲間との連携した作戦を考え、試合で試す</p>
深める	<p>○動きを照らし合わせる コートを広く使うのがうやすすぎに、スペースに走り込みをつなげるチームの映像を意図し、設定する</p>	<p>ロングスローからのシュートが、きまらない 空いたスペースに走り込めば、フリーでパスがもらえそう マンツーマンディフェンスはパスカットには有効だ</p> <p>スペースを生み出す作戦や役割を決めた作戦を考えたい</p>	<p>☆人との関係を築く力 ・仲間との関わり合や、作戦の精度を高めるため、大会を企画・運営する</p>
深める	<p>○動きを照らし合わせる スロワー、キャッチなどの役割を、それぞれで連携してチームの意図を設定する</p>	<p>ロングスローの精度をもっと高めていきたい サイドを走らせロングスローを使った速攻が使える 攻守交代のとき、すばやく戻らなければいけない</p> <p>スロワーと、キャッチをする役割を、決める ディスクを持たない人の動きも重要だとわかった スロワーにはりついて、投げにくくして時間をかせぐ</p> <p>キャッチする場所を決めディフェンスを振り切り走り込もう 攻守のポジションを固定することで得意なプレイが増えそう キャッチが得意な人を徹底的にマークするとよさそう</p>	<p>☆人との関係を築く力 ・仲間との関わり合や、作戦の精度を高めるため、大会を企画・運営する</p>
深める	<p>○動きを照らし合わせる 作戦を考えた楽しさ、大会の企画・運営について交流を設定する</p>	<p>一人一人の特徴を生かした役割を考え、試合状況や相手に合わせた作戦を考えないといけない</p> <p>自分たちの特徴や状況に合わせた作戦を考え、大会に臨む 11時～14時</p> <p>大会をスムーズに進行するために、計画を作りたい 作戦本をつくり、チームみんなで作戦を共有できた ゾーンディフェンスをしながら、パスカットができそう</p>	<p>☆人との関係を築く力 ・仲間との関わり合や、作戦の精度を高めるため、大会を企画・運営する</p>
つなげる	<p>○記録を残す これまでの成果を振り返る</p>	<p>賞状を作るなど、大会を盛り上げる工夫ができた ロングスローからの速攻が得意なチームだとわかった 連携した動きの中でフォローしあうとパスカットできた</p>	<p>☆人との関係を築く力 ・仲間との関わり合や、作戦の精度を高めるため、大会を企画・運営する</p>
つなげる		<p>一人一人がチームの役割を果たし、狙ったプレイが決まると楽しい</p> <p>仲間の特徴を生かし運動する楽しさを実感していく</p>	
つなげる		<p>どの種目でも動きを分析しそれを活かすことが大切だ 仲間と協力し、作戦を立てたり練習したりして運動を楽しむ</p>	